

エスシーアライアンス

<Harmony Radio System >

20年以上に及び全国100局を超える放送局への「DAD 自動運行システム」の販売、施工、サポートを行ってきた実績を基に、この度新しく国産のラジオ局向け放送自動運行システム「Harmony」を開発した。

「Harmony」はラジオ局に必要とされる自動運行システム (APS)、CM/番組再生 (DAF)、放送素材管理、音声スイッチャー、営放システム (EDPS) 更にスタジオDAWの機能もオプションで追加できる、Windows PC ベースの総合放送システム。PC ベースの実機を紹介した。



<https://ss.sc-a.jp/harmony/harmony-basic-set/>

<Omnia 社製品>

Omnia MPX Node (新製品) : アナログ MPX 信号を直接320kbps でIP 伝送するインターフェースユニット。

演奏所に設置したサウンドプロセッサのピークコントロールされたL/R 信号、パイロット信号をIP ストリームで送信所に伝送。更に、1台のOmnia MPX エンコーダーは同時に複数の送信所のMPX デコーダーにも配信可能。MPX デコーダー出力を送信機のMPX 入力に直接接続ができ、クリアなサウンドを提供。



<https://ss.sc-a.jp/omnia/>

<Telos 社製品>

Infinity AoIP インカムシステム (新製品、参考出展) : AoIP 対応 (Livewire+, AES6 準拠) のインカムシステム。Axia 製のAoIP ネットワークコンソールシステムのユーザーは既存のオーディオネットワークをインカム用にも使用可能。

親機のようなセントラルマトリクスも不要でインカムシステムを構築。

<https://ss.sc-a.jp/TELOS/>



<Digigram 社製品>

IQOYA TALK (新製品) : 今後の5G にも対応するIP ポータブルオーディオコーデック。

中継用途やトークショーに最適なポータブルオーディオIP コーデックで、1台で最大4人のゲストにスタジオ品質のインタビューが可能。

<https://ss.sc-a.jp/Digigram/>



<BW Broadcast 社製品>

TX50V3 (新製品) : 5~50W 出力可変のFM 送信機 「TX50V2」の後継機種。

TX50V3 ではFM 同期放送用送信機としても対応できるように10MHz/1PPS シンク入力を備え、周波数の高安定度化、μSec ステップのディレイ調整、パイロット信号の位



相調整機能、MPX 出力ディレイ調整などが標準機能として追加。

https://ss.sc-a.jp/bw_broadcast/



<Inovonics 社製品>

米国 Inovonics 社は40年以上にわたって、高品質なAM/FM モジュレーションモニター、放送用オーディオプロセッサ、RDS エンコーダーを製造してきたメーカーであるが、本展では簡易 FM 放送監視チューナーの新製品「INOMINI 673」を中心に、FM 放送監視チューナー「650 AARON」、FM モジュレーションモニター「531N」などを紹介。

<https://ss.sc-a.jp/inovonics/>



高橋建設

高橋建設では、1979年の創業以来、防音工事専門業者として自社による責任施工を貫き、日本全国で専門技術者が対応している。InterBEE2019では、サイズが自由な簡易型アナウンスブースを展示。録音ブース・調整室・編集室・視聴室等で幅広く活用できる。

多様化する映像業界のクリエイティブワークを独自のシステムと、確かな遮音技術でフレキシブルにサポート。最近ではインターネット放送等が行われ防音室があると便利である。

www.takahashi-kensetsu.co.jp



映像スタジオ施工

多様化するデジタル映像環境に対応、映像スタジオ施工なら豊富な実績、直営システムに依る徹底したコストダウンを実現する



匠の技をスタジオに

MA室 ブース 各種 編集室

新設、リニューアルに関わらず何でもご相談ください。

~映像・音響専門で
42年~

〔映像・音響・防音・建築・設計・施工〕

一級建築士事務所

高橋建設株式会社

本社 〒216-0032 神奈川県川崎市宮前区神木1-7-8

TEL044-853-0547 044-852-1588

〔社〕日本放送技術協会会員 / 〔社〕日本音楽スタジオ協会会員
〔社〕日本音響学会会員

<http://www.takahashi-kensetsu.co.jp>
info@takahashi-kensetsu.co.jp

コスミックエンジニアリング

•PoE 機能による多彩な切替制御と入出力映像把握が同時可能 コンパクトルーティングスイッチャー :gen

株式会社コスミックエンジニアリングでは、ユーザー要望に即した12G-SDI、3G-SDI、AES/EBU 対応のコンパクトルーティングスイッチャー gen シリーズ全15機種を発表、2020年5月より逐次発売開始。

入出力数は、各信号モデルとも16x16、24x24、32x32、48x48、64x64のラインナップを用意、本体より脱着可能な専用コントロールパネルを用いて、運用状況に応じた様々なルーティング制御を実現する。

12G-SDIモデルと3G-SDIモデルは、出力バスとは別に独立した4分割/16分割のマルチビューワモニタリング出力を装備し、任意の入出力映像表示、ラベル表示、タリー表示が可能。

AES/EBUモデルについては、サンプリングレートコンバート機能、テストトーン出力機能を有しており、従来のルーティング系統設計で課題だった部分を解消するものとし



て期待される。

また、コントロールパネルは、シングルバスタイプ、マルチバスタイプ、そしてジョグセレクト型のマルチバスジョグタイプと、運用シーンに応じて多彩なパネルを用意。

特にマルチバスジョグタイプは、6.6型ワイドLCDを装備し、クロスポイント入出力映像把握を直感的に行える等、正にライブ制作

に適したルーティング操作が実現出来るものとして期待されている。



<http://www.cosmic-eng.co.jp>

ITG マーケティング

ITG マーケティング株式会社は、USB 3.2 Gen 2 (10Gbps) インターフェースに対応したセキュリティ機能搭載の外付け SSD [Samsung Portable SSD T7]

■ 名刺サイズのコンパクトボディに最大転送速度 1,050MB/sを実現した[Samsung Portable SSD T7] を2020年6月上旬より販売。

■製品特長

・最大転送速度 1,050MB/s

PCIe NVMe テクノロジーと USB 3.2 Gen 2 インターフェースを組み合わせた「T7」は、シーケンシャル読み出し / 書き込み速度を最大 1,050 / 1,000 MB/s まで向上させ、現行モデルの Portable SSD T5 と比べて約 1.9 倍、外付け HDD と比べて約 9.5 倍の転送速度を実現する。

・データ保護と優れた堅牢性

「T7」は AES 256 ビット ハードウェア暗号化のオプションパスワードにより、個人データなど、セキュアに管理したい情報、ファイルをより安全に保存できる。

最大 2メートルの高さからの落下にも耐える堅牢性を備えた頑丈なメタルボディを

採用しており、保存されている大切なデータを守る。3年の限定保証が付いている。

・洗練されたデザイン

「T7」は名刺サイズの大きさで、重さ 58g、厚さ 8mm とコンパクトかつスタイリッシュなデザインで持ち運びに便利。カラーはインディゴブルー、メタリックレッド、チタングレーの3色展開で、容量は 500GB、1TB、2TB をラインアップ※。

※一部のモデルは受注後、メーカーからの取り寄せとなる。

■製品ラインアップ T7



ITG マーケティング株式会社

<https://www.itgm.co.jp>

製品	容量	カラー	型番	価格	想定価格(税込)
T7	500GB	インディゴブルー	MU-PC500H/IT	オープンブライズ	14,980 円
T7	500GB	メタリックレッド	MU-PC500R/IT	オープンブライズ	14,980 円
T7	500GB	チタングレー	MU-PC500T/IT	オープンブライズ	受注後、取り寄せ
T7	1TB	インディゴブルー	MU-PC1T0H/IT	オープンブライズ	25,480 円
T7	1TB	メタリックレッド	MU-PC1T0R/IT	オープンブライズ	25,480 円
T7	1TB	チタングレー	MU-PC1T0T/IT	オープンブライズ	受注後、取り寄せ
T7	2TB	インディゴブルー	MU-PC2T0H/IT	オープンブライズ	受注後、取り寄せ
T7	2TB	メタリックレッド	MU-PC2T0R/IT	オープンブライズ	受注後、取り寄せ
T7	2TB	チタングレー	MU-PC2T0T/IT	オープンブライズ	46,980 円

※価格はオープンブライズ。店頭想定価格については表を参照。* 受注後、メーカーからの取り寄せとなる。

Espial (Enghouse Company)

Espial は TV 事業者向け TVaaS 型クラウドベースビデオ配信プラットフォーム「Elevate Cloud IPTV」を提供している。

ELEVATE
by espial

ン対応で、クライアント端末選択の自由度が高い。さらに優れた UI テンプレートをベースに簡単にカスタマイズやブランディングが可能としている。

「Elevate Cloud IPTV」のノンストップ・イノベーションによって短時間で運用を開始でき、満足度の高いユーザー・エクスペリエンスを迅速にカスタマーに提供できる。

「Elevate Cloud IPTV」は高度で緻密なターゲット・プロモーションが可能でアップセルやクロスセルに貢献する。

また、「Elevate Cloud IPTV」は高度な分析機能、強力なセグメンテーションエンジン、柔軟なプロモーション管理機能を搭載し、同プラットフォームを導入した事業者の収益と売り上げ目標達成に貢献する。

さらに、アクティブなオペレーターグループあるいは MSO (マルチプル・システムズ・オペレーター) 間で、マーケティングに関する情報や、問題解決のための技術的なベストプラクティスを共有 (マルチテナント) することも可能で、システム全体のコスト (TCO) が大幅に削減できる。

同プラットフォームは、既に北米で 40 以

「Elevate Cloud IPTV」について

「Elevate Cloud IPTV」は、SaaS 型ターナーキーより一歩踏み込んだ TV as a Service (TVaaS、ティアバス) 型として提供されるクラウド・ホスティング・ビデオ・プラットフォーム・ソリューションで、バックオフィス、android/iOS/FireTV などのクライアント・アプリ、クラウド環境、サポート、運用 / 監視、メンテナンスに至るまで、TV サービスを一つのクラウド・ソリューションとしてケーブル、テレコム、衛星放送、OTT の TV 事業者提供される。また、これらの全ては 1 か所管理・制御ができ、24 時間 365 日のフルサポート管理体制を提供可能としている。

「Elevate Cloud IPTV」のクライアント・アプリは非常に高速で、高度な UX をエンドユーザーに提供する。また、マルチスクリー

TVaaS型ビデオプラットフォーム Elevate Cloud IPTV



上のケーブル、IPTV 事業者へ納入、稼働しており、あるケーブル事業者が IP-VOD を新たにサービスとして加えるために、わずか 60 日間でサービスインに漕ぎ付けたという事例がある。TCO も同プラットフォームを導入することにより、最大で 65% も削減できた事例もある。

Espial は 2019 年に Enghouse グループの一員となった。強力なバックアップを得てより良いサービスを事業者様に提供する。



<https://www.espial.com/elevate-cloud-jp/>

【問い合わせ先】 エスピアル

金森 幸雄 Yukio Kanemori

Espial Group Inc. (Enghouse Company)

Mobile: 090-6128-7377

<http://www.espial.com>

ATV

ATV 株式会社は、映像スイッチャーやコンバーターなどを製造販売している国内メーカー。

【製品紹介】

4K Series



① HDMI2.0 2ch 4K 1M/E AV MIXER 『A-PRO-1』

4K60p 対応のミニマム AV ミキサー。2 入力 2 出力の最小構成、合成各種、静止画 STILL、4K/HD 間の UP & DOWN コンバート、フレームレート変換、リモート制御、複数台連動、信号断による自動切替、等々。

② HDMI2.0 4ch Multi-format Seamless Switcher 『AV-4K-4X1』

HDMI2.0、 HDCP2.2/1.4 対応、マルチフォーマット入力、ディゾルブ切替、4 画面マルチビュー、P in P 等の設定をプリセット記憶、RS-232、IR、LAN によるリモート制御、等

③ HDMI2.0 4ch SPLITTER with DOWN CONVERTER 『AV-4K-1X4』

④ HDMI2.0 to 12G-SDI Converter 『AV-4K-HS』

⑤ 12G-SDI to HDMI2.0 Converter 『AV-4K-SH』

2K Series



⑥ Video Converter 『AV-5S/AV-3 SERIES』

SDI と HDMI を繋ぐハイスpekコンバーター。フレームバッファ機能、各種ソースに自動対応、外部シンクロ、音声入出力等。

今回の新型コロナウイルスの影響により、様々なイベントの中止やテレワークの推奨等で、ライブ配信や Skype などの遠隔コミュニケーション手段が再注目されており、これを契機に今後もこれらの手段が更に社会に浸透していくものと思われる。

弊社の製品の中には、このような用途に適した機能を搭載しているものがある。

(② 『AV-4K-4X1』 :PC や

Mac と直接接続してネット配信や Skype などに使用できる機能)、デモ機の貸出し随時。



<http://www.atvcorporation.com/products/videos/>

リーダー電子

「LV5900」8K 対応波形モニター、「ZEN シリーズ」に追加された 4K-IP (25G) モニター / ジェネレーター、「LT 4610」の8K 対応は、今後の国内・海外需要に適応させたあらゆるユーザー層に推奨しうる製品。

また、イギリスの世界的な映像、音響、放送測定器メーカーであるPHABRIX 社が当社の仲間になり、製品ラインナップが強化された。さらに、新しい試みになるクラウド環境を利用したコンテンツヘルスチェッカーを開発した。このような多様化するニーズに対応しうる製品を一堂に展示した。

◇ LV5900 8K 波形モニター



8K/4K/2K 映像フォーマット

- ・ 波形 / ベクトル / ピクチャー / オーディオ / アナライズ / ジェネレーター機能
- ・ MADI 入力対応 ・ 液晶サイズ : 9 インチ
- ・ 4U ハーフラックサイズ

▶ <https://www.leader.co.jp/products/broadcast/waveform/lv5900/>



◇ LV5600 2K/4K/IP/4入力波形モニター



- ・ 4K 12G SDI & 4K 25G IP ハイブリッド
- ・ 波形 / ベクトル / ピクチャー / オーディオ / アナライズ / ジェネレーター機能 / 簡易字幕機能
- ・ 液晶サイズ : 7 インチ
- ・ 3U ハーフラックサイズ

▶ <https://www.leader.co.jp/products/broadcast/waveform/lv5600/>



◇ LV7600 2K/4K/IP/4入力ラスタライザー



- ・ 4K 12G SDI & 4K 25G IP ハイブリッド
- ・ 波形 / ベクトル / ピクチャー / オーディオ / アナライズ / ジェネレーター機能 / 簡易字幕機能
- ・ 1U フルラックサイズ

▶ <https://www.leader.co.jp/products/broadcast/rasterizer/lv7600/>



◇ LV5300/LV5350



2K/4K/2入力 波形モニター

- ・ LV5300 EYE 付き
- ・ LV5350 EYE 無し
- ・ 波形 / ベクトル / ピクチャー / オーディオ / アナライズ / ジェネレーター機能 / 簡易字幕機能
- ・ 液晶サイズ : 7 インチ
- ・ 3U ハーフラックサイズ
- ・ 電源 : DC10V ~ DC18V

▶ <https://www.leader.co.jp/products/broadcast/waveform/lv5300/>



▶ <https://www.leader.co.jp/products/broadcast/waveform/lv5350/>



◇ LV7300 2K/4K/2入力 ラスタライザー



- ・ SDI & IP ハイブリッド
- ・ 波形 / ベクトル / ピクチャー / オーディオ / アナライズ / ジェネレーター機能 / 簡易字幕機能
- ・ 1U フルラックサイズ

▶ <https://www.leader.co.jp/products/broadcast/waveform/lv7300/>



◇ LT4610 ジェネレーター



- ・ アナログブラック同期信号出力
- ・ ゲンロック機能
- ・ GPS/PTP/12G 4K オプション
- ・ 2重化電源

▶ <https://www.leader.co.jp/products/broadcast/sg/lt4610/>

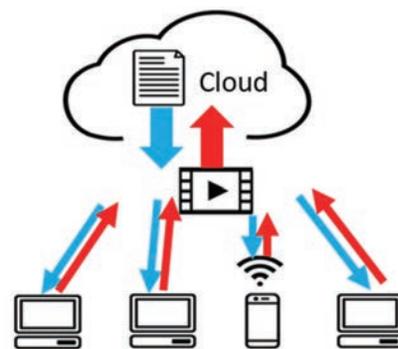


◇ LT4448 チェンジオーバー



- ・ 入出力BNC11 組、LTC のチャンネル
- ・ 対応信号 : SDI 信号、NTSC / PAL ブラックバースト信号、HD 3 値同期信号、AES / EBU デジタルオーディオ信号
- ・ ワードクロック信号、LTC 信号
- ・ 2重化電源・異常アラーム

▶ <https://www.leader.co.jp/products/broadcast/sg/lt4448/>



◇ クラウド型QC [参考出品]

- ・ 動画・音声を含むコンテンツの異常をチェックするクラウドサービスです。
- ・ コンテンツの異常と思われる部分を抽出します。
- ・ 複雑なパラメーター設定は必要ありません。

◇ LF965 4K/8K 対応レベルメーター



日本国内における高度広帯域衛星デジタル放送 (4K / 8K 放送)、衛星デジタル放送 (2K 放送)、および地上波 / CATV デジタル放送に対応したレベルメーターです。

▶ <https://www.leader.co.jp/products/rf/lf965/>



◇ PHABRIX TAGC アナライザー / ジェネレーター



- ・ IP ST2110 / ST2022 対応
- ・ コンポジットの入出力 (BB, 3 値対応)
- ・ ビデオ信号発生器 3G/HD/SD-SDI

▶ <https://www.leader.co.jp/products/resale/sx-tag/>



◇ PHABRIX QX



ハイブリッド IP/SDI、4K/UHD、HDR/WCG 世代の高度なラスタライザー

▶ <https://phabrix.com/ja/products/qx/qx-series/>



◇ VB440 高性能 IP トラフィック監視装置



- ・ 高ビットレート IP メディアトラフィック監視
- ・ QoS (Quality of Service)
- ・ デュアル 100 ギガビット
- ・ ST2110 / ST2022-6 非圧縮メディアをサポート
- ・ 8K / 4K IP サポート

▶ <https://www.leader.co.jp/products/resale/bridge-vb440/>



エレクトリ



新製品 SPL Mercury

エレクトリは、SPL 社の Mercury を発売する。

Mercury は、SPL 独自の 120V テクノロジーを使った初めてのステレオ DA コンバーター。

2つの AES/EBU 入力、2つのオプティカル入力、2つのコアキシャル入力、USB 入力の計 7つのデジタル入力を搭載している。PCM デジタル信号の場合は最大 32-bit/768kHz、DSD 信号の場合は DSD256 に対応する。



製品の詳細は

<https://www.electori.co.jp/spl/mercury.htm>

新製品 ISO Acoustics ISO-PUCK 76

ISO Acoustics 社の ISO-PUCK 76 の発売案内。

ISO Acoustics ISO-PUCK シリーズは、スタジオモニター、ギターアンプなどのシステムをアインソレートする革新的なアイテム。新たにラインナップに加わった ISO-PUCK 76 は、1PUCK あたりの耐荷重が 18kg のため、より大きいサイズのスピーカーやアンプに対応する。1箱あたり 2つの ISO-PUCK 76 が同梱されている。



製品の詳細は

https://www.electori.co.jp/isoacoustics/iso-puck_series.htm

製品名：ISO-PUCK 76
 本体価格：8,800 円（税込み：9,680 円）
 製品コード：UPC: 810514000805



NCITE-813A

三友

InterBEE2019 にて、映像制作に関わる効率的なワークフローを実現する製品や撮影用ペリフェラル製品を出品。撮影機材では、大判センサーをカバーするイメージサークルを持つ Leitz のシネマレンズをはじめ、DJI 製品、超小型の放送用カメラ Dream CHIP ATOM one を展示。また編集機材では、ハイエンドオンライン編集・カラー&フィニッシングシステム Grass Valley Rio 4K/8K のシステムを紹介した。

この他、8K 光 / 無線伝送のシステムなど、様々な機材の実動展示を行なった。

ORCA バッグ：ORCA は、放送や映画のプロフェッショナルに最適なカスタムバッグ

やアクセサリを提供するために生まれた。全てのプロフェッショナルの仕事を手軽に、快適に、素早くこなせるようにすることが ORCA のモットーである。ORCA の研究開発チームは映画、音声、テレビ産業に 30 年以上の間携わっており、この経験が最適な機材バッグを提供することを可能にしている。

全ての ORCA 製品はその研究開発チームによって最先端の技術や道具を駆使して製造されています。その結果デリケートなビデオ、ライト、音声機材などを保護し、運ぶことができるケースを設計することが可能になっているとのこと。

最高峰シネマレンズ『Leitz』

日本初公開となる大判センサーをカバーする Leitz の新プライムレンズ



NEW・LEITZ PRIME/NEW・LEITZ ZOOM/
 NEW・THALIA-T
 ・ M 0.8 ・ MACROLUX 114, 95 他



Grass Valley Rio 4K/8K

ハイエンドオンライン編集・カラー&フィニッシングシステム



<https://www.mitomo.co.jp/>



ニッキャビ

新型コロナウイルス収束後も注意すべきウイルスに対し、効果を発揮する製品を案内する。

1. 「注意すべきウイルスに効果を発揮する当社製品、素材について」

新型コロナウイルス収束後も我が国にはインフルエンザやノロウイルスなど気に掛けるべき病原菌がある。

cyber RAIL、space RAIL など木製テーブルの仕上げに選定できるマーモリウムも、ノロウイルス/A型インフルエンザに対して抗ウイルス効果があることが実証されている。

また、医療・クリーンルーム等抗菌処理が必要な空間に対応したシステムラック、抗菌仕様 NOW ラック用意している。詳細は是非、下記 URL よりご覧ください。



http://www.niccabi.co.jp/products/cabinet/now_antibacterial/index.html



抗菌処理された 19 インチシステムラック。医療・クリーンルーム等抗菌処理が必要な空間に対応したシステムラック。

< ラック引取・廃棄サービスのお知らせ >
お手元にある不要なラック、処分にお困りではありませんか？

弊製製のラックであれば、引取・廃棄の他、部材追加や仕様変更に伴う再納品も可能。



▼ ラック引取・廃棄サービスのお知らせ ▼

<http://www.niccabi.co.jp/information/news/RHH.pdf>

K-WILL

● 2K/4K 画音監視「QuMax3000/FED」 (Full/Reduced Reference)



映像・音声監視ソリューションの中核製品であるQuMax シリーズに新たに加わった 4K 12G-SDI 映像・音声監視ボード「PROBE 12G」を展示。2K 対応 PROBE 300 シリーズと組み合わせることで、1 台で 2K/4K 映像・音声監視を実現する。ITU-T J.144 標準方式をベースに、画素・音声サンプルを直接比較することにより、より緻密な 4K 監視を実現する。

さらに、4K 12G-SDI 対応の特徴量抽出デバイス「FED」(Feature Extraction Device) を初公開。コンパクトな 1RU ハーフラックサイズのこの装置は、2K/4K 映像・音声の特徴量や ANC データを取り出し、最大 12Gbps の情報量を 1Mbps までエッセンス化し、IP ネットワークで監視地点まで送出 (1 筐体あたり 2 系統入力可)。監視地点では、映像や音

声の送信元や受信先から受け取った複数の特徴量を解析することで、遠隔地点間の伝送状態を、リアルタイムに監視することが可能となる。

● 4K/8K HDR 画質評価「VP4000」 (Full Reference)



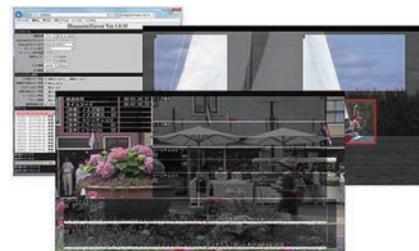
「VP4000」は、2160 59.94p フルサンプルの 4K 基準画像及び評価画像の時間軸を自動補正することで画素同士を比較し、輝度差分値 Y_PSNR と共に、ITU-T J.144 国際標準方式による DSCQS (二重刺激連続品質尺度) をフレーム単位でリアルタイム計測 (エミー賞受賞)。その評価精度は、ITU-R 500 シリーズによる主観評価と同等で、さらに 8K 画質評価及び HDR 対応へと進化した。ブースでは 4K 画像の画質評価をハンズオンで紹介した。

● 2K/4K 画音検査「ProQ4000」 (No Reference)

「ProQ4000」は、PC ワークステーション



上で 12G SDI、3G Quad SDI もしくは 4K ファイルに対して、ブロックノイズ、ラインノイズ、プーチ音等一瞬のノイズをリアルタイムで正確にとらえることができる、2K/4K 対応映像・音声検査装置。ブースでは、1~2 フレームのカクリやスキップフレーム、黒味やノイズ混入の検査とエラーキャプチャー機能



などを紹介した。



<http://www.kmw.co.jp/>

ヴァイテックグループ

ヴァイテックプロダクションソリューションズとヴァイテックイメージングは、InterBEE2019に共同ブースで出展した。

ヴァイテックプロダクションソリューションズ: Vinten、Sachtler、oconnor、ANTON BAUER、Autocue、autoscript、Litepanels など、多数のブランドをもつ同社では、一昨年までの flowtech のモデルは、flowtech 75、flowtech 100 において、Vinten と Sachtler とが組み合わせたモデルが登場していたが、本展では OCONNOR の新しいヘッド Ultimate 1040 と組み合わせたモデルが新登場。これで、flowtech は Vinten や Sachtler のほか OCONNOR の3つのブランドが組み合わせられたラインナップとなった。

flowtech は革新的な高速セッティング機構、および厳しい使用環境を想定した耐久性を備える、まったく新しいカーボンファイバー製の三脚システム。撮影現場におけるワークフローの大幅な改善と、撮影の自由度の向上を可能とする数々の新開発テクノロジーが搭載されている。

ヴァイテックイメージング: マンフロットブランドのビデオ雲台・三脚・カメラバッグなどを中心に、取り扱いを始めた JOBY 小型三

脚、Lowepro カメラバッグも展示。ナイトロテックフルードビデオ雲台は、ビデオカメラの傾きに反発するカウンターバランス機構に、革新的なナイトロジェン（窒素ガス）ピストンを採用。一般的なバネを使用した機構に比べコンパクトなサイズで、強力かつ無段階のカウンターバランスを実現します。ナイトロテックN8とN12雲台（8kgと12kgまでの機材に対応）と、各種三脚とのキットをラインナップ。今回、マンフロット初のカーボン製ツインチューブ三脚も参考出品し befree シリーズのハイスpekモデル「befree GT XPRO」や、Syrp のモーションコントロールデバイス「Genie Mini II」を展示。

トラベル三脚 befree シリーズにマクロ撮影や俯瞰撮影に便利な90° センターポール



flowtech の展示コーナー



機構を搭載したハイスpekモデル befree GT XPRO を新製品として出品したほか、無段階カウンターバランス搭載で話題になった Nitrotech の新シリーズを出展。

また、スライダーに搭載してパンやティルト、タイムラプス撮影ができる Syrp の新バージョン Genie Mini II、ゴリラポッドに代表される JOBY からはアルミ軽合金を採用することで堅牢性を向上させ、2本のアームでLEDライトなどのアクセサリの装着に対応したゴリラポッドの新モデルを出展。そのほかにも、Lowepro のアウトドアフォトグラファー向けのバックパックや Vinten のスタジオペダスタル、Sachtler や OCONNOR の三脚などを出展した。



<https://www.vitecproductionsolutions.jp/>

富士フィルム

InterBEE2019では、各ジャンルのレンズコーナーを設けたほか、ブース内に4K大型中継車を展示した。

高倍率レンズコーナー: 主に高倍率レンズを展示。新製品の4K箱型レンズ「UA107x8.4 AF」と「UA125x8」が国内初出展。オートフォーカスの合焦精度や高倍率ならではの画角を体感できた。

シネマレンズコーナー: フルサイズ対応ズームレンズ「Premista 28-100、80-250」を展示。望遠タイプ（80-250mm）はダナードリーに搭載して展示を行った。

報道レンズコーナー: 小型・軽量タイプのUA24X7.8などをカムコーダーに搭載して出展。担いだ際のバランスや操作感をタッチ



& トライで確認できるデモを行なった。また、2019年8月に販売開始した同社初の望遠監視カメラ「SX800」を展示。40倍ズームでの遠方撮影、防振性能、高速AFが目玉された。

スタジオ/中継レンズコーナー: ARIA、RBFを搭載したUA13X4.5レンズや、寄れて引ける4KレンズのUA18X5.5、UA27X6.5などを出展いたします。クレーンや天吊りスタイルで展示することで、現場での操作感をイメージすることができます。

西尾レントオール 中継車コーナー: 2019年12月にレンタルを開始した、レンタル業界初の4K大型中継車を展示（写真左）。FUJINON4Kレンズが多数採用されており、中継車内からモニターチェックが可能。

Xコーナー: ミラーレスデジタルカメラ最新モデル「FUJIFILM GFX100」や「FUJIFILM X-T3」と、Xシリーズ専用シネマレンズ「FUJINON MKXシリーズ」を組み合わせた小型・軽量の撮影システムを紹介。

FP-Z5000によるブース演出: 世界初の「屈



曲型二軸回転機構レンズ」を搭載し、本体を動かさずにレンズの回転だけでさまざまな方向へ投写できる超短焦点プロジェクター「FUJIFILM PROJECTOR Z5000」を使いブース演出を行った。



タックシステム

Avid S6 およびDolby HT-RMU を用いたDolby ATMOS ステージにて、Dolby ATMOS ミキシングセミナーを行った。また、同ステージでは、Avid Technology 社から新しく発売となったAvid S4 コンソールも併設展示した。

<ADDER ALIF-4000 シリーズ>

Adder 社からは4K 映像に対応したAdder Link Infinity「ALIF-4000」シリーズが登場。このシリーズとしての新しいハードウェアは従来の機種をはるかに凌ぐパフォーマンスと将来性を持ったプラットフォームとして設計されている。初登場のバージョンですすでに4K60P 映像2系統を1台のユニットで伝送できるパフォーマンスを携え、ファイバー接続によって従来以上の切り替え速度とレイテンシーを実現している。画質についてもピクセル・パーフェクトなロスレス圧縮転送によってカラーグレーディングやCG制作に完全に対応した唯一のIP-KVM システムと言える。アップデートにより、HDR への対応も予定されており、放送、映像スタジオ・システムにフォーカスしたロードマップを敷いている。なお、ALIF-4000 シリーズは、従来のInfinity システムとの互換性を有するため、システム全てを4000 シリーズで

組む必要はない。

低解像度のVGA、1K、2K といった従来のInfinity シリーズの中に必要な部分だけ組み込むことが可能で、全体のシステムコストを抑えたシステムを実現することができる。

<Directout Technologies PRODIGY.MC>

多くのMADI インターフェイスを送り出してきたDirectOut Technologies 社からは、新たに登場した「PRODIGY.MC」を展示。「PRODIGY.MC」は、既存の「ANDIAMO2.XT シリーズ」をさらに発展させ、モジュール・スロット・タイプのI/O カードのセクションによってスタジオの要求に合わせたコンフィギュレーションを自由に組めるフレキシビリティを備えている。また、MADI インターフェイスだけでなく、ネットワーク・オーディオにも対応し、Dante、Ravenna、WSG の3種類のネットワーク・オーディオ・カードを選んで実装することができる。

<Yellowtec iXm Podcast >

非常に高性能なマイクゲイン・コントロール機能「LEA」エンジンを搭載したレコーダー内蔵のマイクロホン「iXm」に価格を抑えた「iXm Podcast」が登場した。どのような現場でも適正なマイクゲイン・コントロールによって歪まず自然なインタ



InterBEE2019 タックシステムのブース

ビュー収録が可能で、しかも収録操作は片手でOK。

<NTP Technology >

デンマークのSKAARHOJ 社のOEM によってNTP Technology 社からPenta シリーズ用のマトリクス・コントロール・ユニットが発売となった。Penta 内部のマトリクス・ルーティングの切り替えと必要な部分のレベル・コントロールをリモートすることができる。また、内部のコンフィギュレーションによってブラックマジック・デザイン社製のビデオ・ルーターなども同時に制御することが可能で、スタジオでのライン切り替え、マシンルームでのルーティング、中継車での回線チェックなどに最適なオプションとなる。モデルは、EIA 1U と2U の2タイプが用意されている。

武蔵/武蔵エスアイ

◇DCP-73 制御アプリケーションソフトウェアシステム [新製品]

DCP-73 はSONY XDCAM Station をコントロールするWindows アプリケーション。XDS のファイル操作のプラットフォームGUI として使用可能。

- ・クリップの並び替えや送込が可能。
- ・Internal/PD/SxS のクリップ作成が可能。
- ・ファイルの転送が可能。
- ・最大4台のXDS の制御が可能。

◇MDC-74 マルチデバイスコントローラ



ディスクレコーダ、VTR のリモートコントローラ。

- ・カラー液晶を搭載
- ・4ポートのTC とステータス表示

- ・ファイル、CUE のリスト表示
- ・±設定可能なPre Roll/Post Roll 機能
- ・LTC 入出力装備
- ・FF/REW は可変速可能
- ・NEXT/PREV 動作可能

その他の標準製品は以下の通り。

- ・MDC リーズ デバイスコントローラ
- ・DCP-1500 for EVS 動画ファイルソフトウェアシステム
- ・MCI シリーズ コントロールインターフェース

◇MV Xシリーズ マルチチャンネルビデオレコーダー

MV Xシリーズはマルチチャンネルビデオディスクレコーダー（サーバー）。モデルにより1入力1出力から4入力2出力のラインナップがある。

◇ViBox8 All In One Live Production System

SimplyLIVE 社製ViBox は、複数の映像音声入力の同時収録、ビデオミキシング/スイッチング、オーディオミキシング、ビデオキーヤー、収録中のビデオの再生及びスロー再生（撮って出し再生）、ハイライト編集、ピ



デオクリップのロギング機能などを1台のビデオサーバーに集約したAll In One Live Production System である。

◇Qx12G | QxIP IP、4K/UHD+HDR の信号発生器/分析ツール

Qx12G | QxIP は英国Phabrix 社の製品でSDI 及びIP の信号発生器及び信号測定/分析器。SD から12G-SDI 及びIP の各信号の各種測定結果をLCD 画面上に一覧表示できますので回線チェックや、送出映像の監視に最適。

4K/UHD までのSDI (12G/6G/3G/1.5G-SDI) を基本にIP の機能を追加でき、ハイブリッドなSDI /IP のテスト環境を構築できる。

